

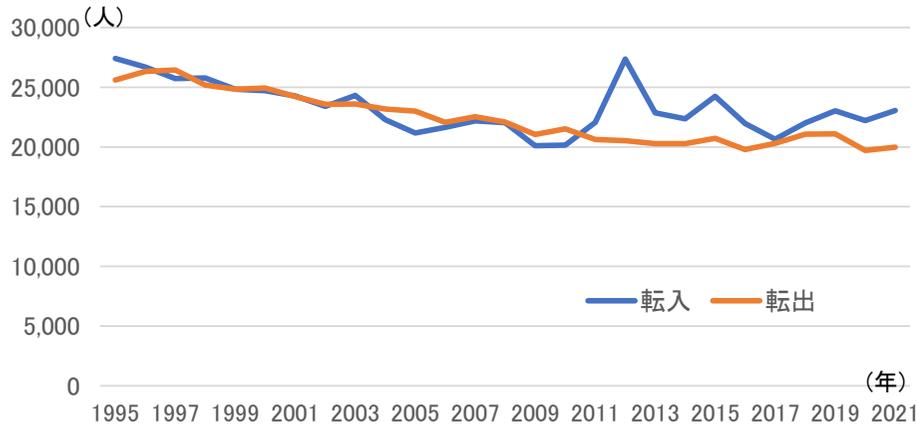
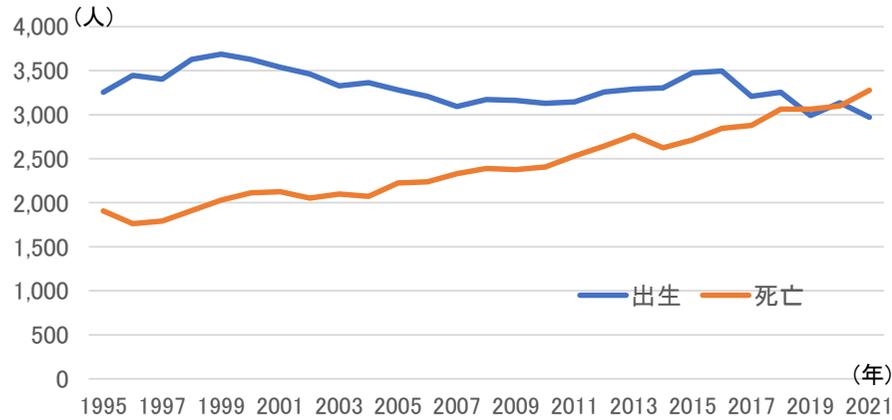
現状分析

トピックス	関連する大綱
1 近年の人口増加	全大綱
2 出生数の減少	全大綱
3 人口偏在に伴う諸問題	全大綱
4 盛んな市民活動	大綱 1
5 地域活動の担い手の減少	大綱 1
6 医療サービスの充実	大綱 3
7 社会保障費の増大	大綱 3、4
8 学術・研究機関の立地	大綱 4、7
9 住みよい生活環境	大綱 6
10 住宅地の集積	大綱 6
11 民間住宅の老朽化	大綱 6
12 空き家の増加	大綱 6

1 近年の人口増加

吹田市の状況

【人口の自然動態・社会動態】



(資料)人口動態調査

吹田の強み・弱み

- 府内他都市と比較して、人口増加率が高い状況にある。
- 自然動態は死亡数が出生数を上回っているが、社会動態は転入が転出を上回り、吹田市の人口は増加傾向にある。

他都市との比較

【5年間の人口増減率(府内市町村 上位 30 自治体)】

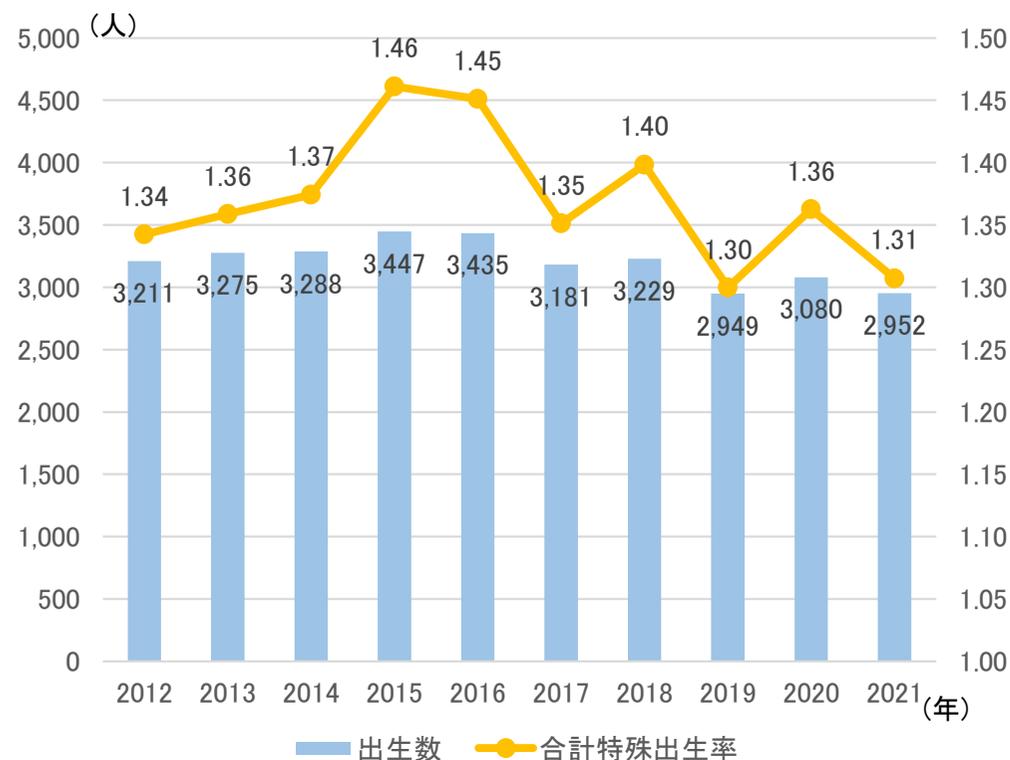
平成27年～令和2年			平成22年～平成27年		
順位	市町村	人口増減率(%)	順位	市町村	人口増減率(%)
1	島本町	3.15	1	吹田市	5.25
2	吹田市	2.96	2	田尻町	4.11
3	摂津市	2.88	3	島本町	3.62
4	茨木市	2.75	4	箕面市	2.71
5	箕面市	2.59	5	茨木市	1.90
6	大阪市	2.28	6	豊中市	1.58
7	池田市	1.87	7	摂津市	1.54
8	豊中市	1.54	8	大阪市	0.97
9	大阪狭山市	1.11	9	和泉市	0.61
10	高槻市	0.25	10	泉佐野市	0.16
11	田尻町	0.20	11	寝屋川市	-0.29
12	守口市	0.04	12	堺市	-0.32
13	泉佐野市	-0.83	13	大阪狭山市	-0.75
14	和泉市	-0.87	14	枚方市	-0.94
15	熊取町	-1.51	15	八尾市	-0.98
16	八尾市	-1.55	16	藤井寺市	-1.10
17	堺市	-1.57	17	池田市	-1.11
18	高石市	-1.58	18	東大阪市	-1.32
19	四條畷市	-1.60	19	熊取町	-1.47
20	枚方市	-1.70	20	高槻市	-1.55
21	東大阪市	-1.76	21	交野市	-1.61
22	交野市	-1.83	22	貝塚市	-1.99
23	泉大津市	-1.96	23	泉大津市	-2.13
24	岸和田市	-2.18	24	岸和田市	-2.17
25	松原市	-2.57	25	守口市	-2.49
26	河南町	-2.66	26	四條畷市	-2.57
27	藤井寺市	-2.67	27	泉南市	-3.05
28	門真市	-3.08	28	松原市	-3.09
29	大東市	-3.12	29	太子町	-3.32
30	寝屋川市	-3.28	30	大東市	-3.38

(資料)国勢調査

2 出生数の減少

吹田市の状況

【出生数・合計特殊出生率の推移】



(資料)厚生労働省「人口動態統計」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

吹田の強み・弱み

- 出生数・合計特殊出生率は、2012年から2015年にかけて上昇がみられたが、2016年以降は減少傾向に転じている。
- 近隣他都市の合計特殊出生率と比較すると、直近の統計では中位に位置している。

他都市との比較

【合計特殊出生率】

2008～2012年			2013～2017年		
順位	北摂 中核市・施行時 特例市	合計特殊 出生率	順位	北摂 中核市・施行時 特例市	合計特殊 出生率
1	岸和田市	1.540	1	摂津市	1.568
2	摂津市	1.500	2	豊中市	1.532
3	寝屋川市	1.440	3	岸和田市	1.529
4	茨木市	1.410	4	茨木市	1.512
5	八尾市	1.370	5	寝屋川市	1.469
6	豊中市	1.360	6	箕面市	1.466
7	東大阪市	1.340	7	吹田市	1.455
8	高槻市	1.330	8	八尾市	1.436
8	枚方市	1.330	9	高槻市	1.418
10	池田市	1.320	10	池田市	1.390
11	吹田市	1.290	11	枚方市	1.381
12	箕面市	1.280	12	東大阪市	1.363

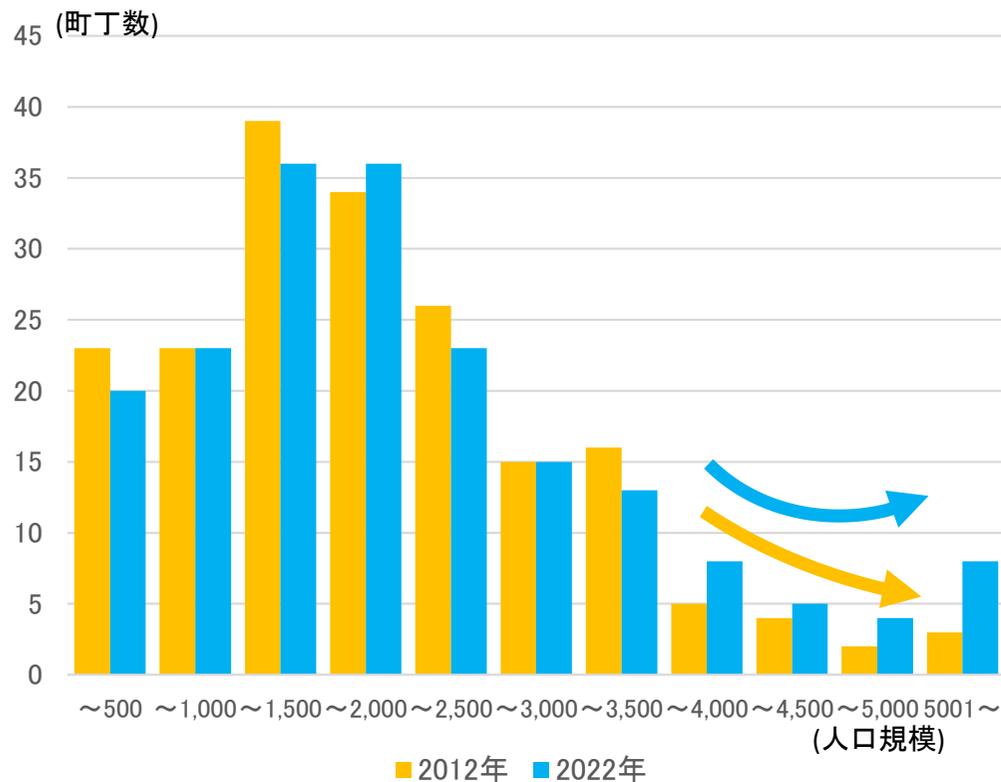
(資料)厚生労働省「人口動態統計特殊報告」

(注) 上表の合計特殊出生率は、偶発的な出生数等の増減による影響を減少させるため、ベイズ推定により補正を行っているため、左図のものと算出方法が異なる。

3 人口偏在に伴う諸問題

■吹田市の状況

【人口規模別町丁数の変化(2012年→2021年)】



(資料)吹田市住民基本台帳

■吹田の強み・弱み

- 2012年から2022年にかけて、人口5,000人以上の地域(町丁)が大きく増加している。
- 人口増減の状況も地域によって大きく異なる。増加が著しい地域においては、教育・医療等のサービスやインフラの整備が課題となっている。

■町丁別比較

【人口増加地域・減少地域(2012年→2022年)】

	増加数上位地域	増減(人)
1	千里丘北	5,047
2	藤白台3丁目	2,692
3	広芝町	1,942
4	津雲台3丁目	1,410
5	垂水町3丁目	1,057
6	千里山虹が丘	1,055
7	佐竹台1丁目	997
8	古江台5丁目	958
9	竹見台4丁目	897
10	千里山星が丘	885
11	江の木町	878
12	高野台1丁目	857
13	津雲台5丁目	846
14	垂水町1丁目	817
15	千里丘下	741
16	江坂町1丁目	716
17	青葉丘南	700
18	長野東	685
19	南金田2丁目	673
20	千里山西6丁目	660

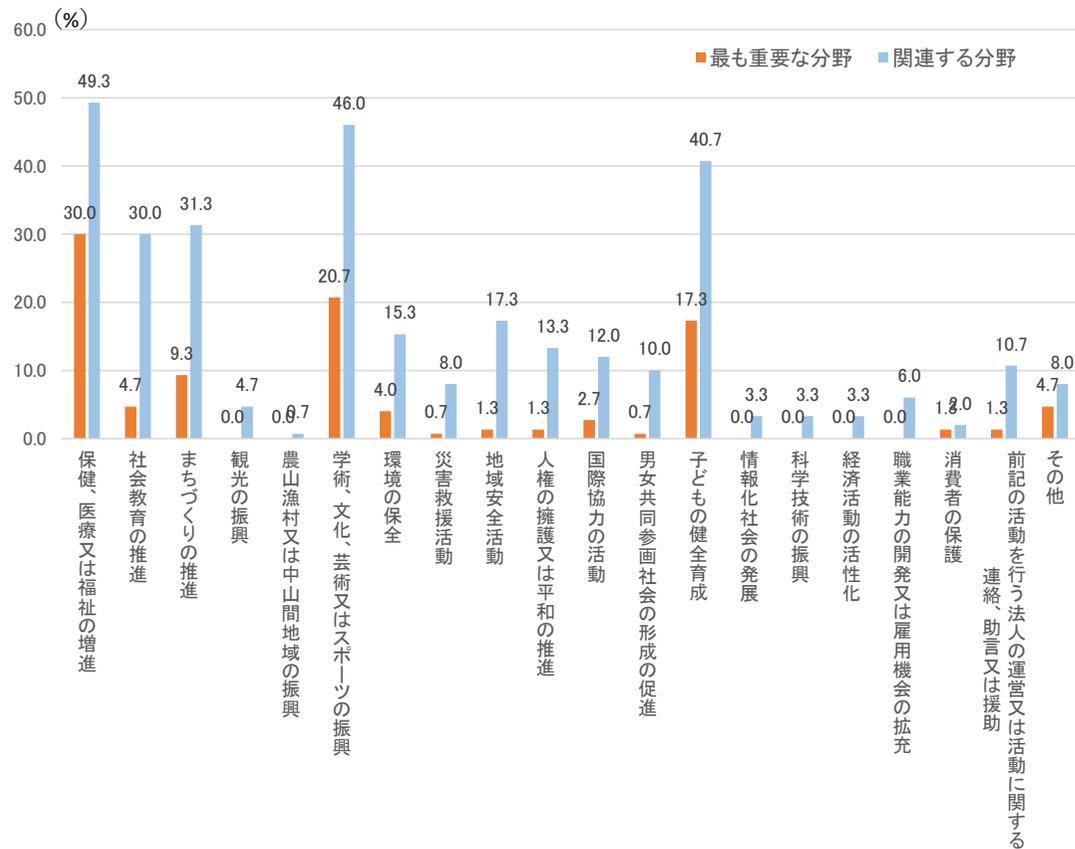
(資料)吹田市住民基本台帳

	増加数下位地域	増減(人)
1	山田西1丁目	-1,109
2	津雲台2丁目	-808
3	高野台4丁目	-780
4	山田西2丁目	-547
5	川園町	-504
6	五月が丘東	-406
7	新芦屋上	-402
8	片山町2丁目	-390
9	藤白台1丁目	-318
10	竹見台3丁目	-276
11	竹見台2丁目	-276
12	青山台1丁目	-273
13	上山田	-254
14	日の出町	-244
15	山田南	-222
16	千里丘西	-218
17	佐竹台5丁目	-208
18	高野台2丁目	-191
19	樫切山	-190
20	佐竹台4丁目	-156

4 盛んな市民活動

吹田市の状況

【市民公益活動団体の活動分野】



(資料)吹田市長官報「2017年度吹田市における市民公益活動団体実態調査」

吹田の強み・弱み

- 近隣他都市と比べて、多くのNPO法人が活動している。
- 特に、保健・医療・福祉分野、学術・文化・芸術・スポーツ分野、子どもの育成分野で活動する団体が多くなっている。

他都市との比較

【主たる事務所を置くNPO法人数】

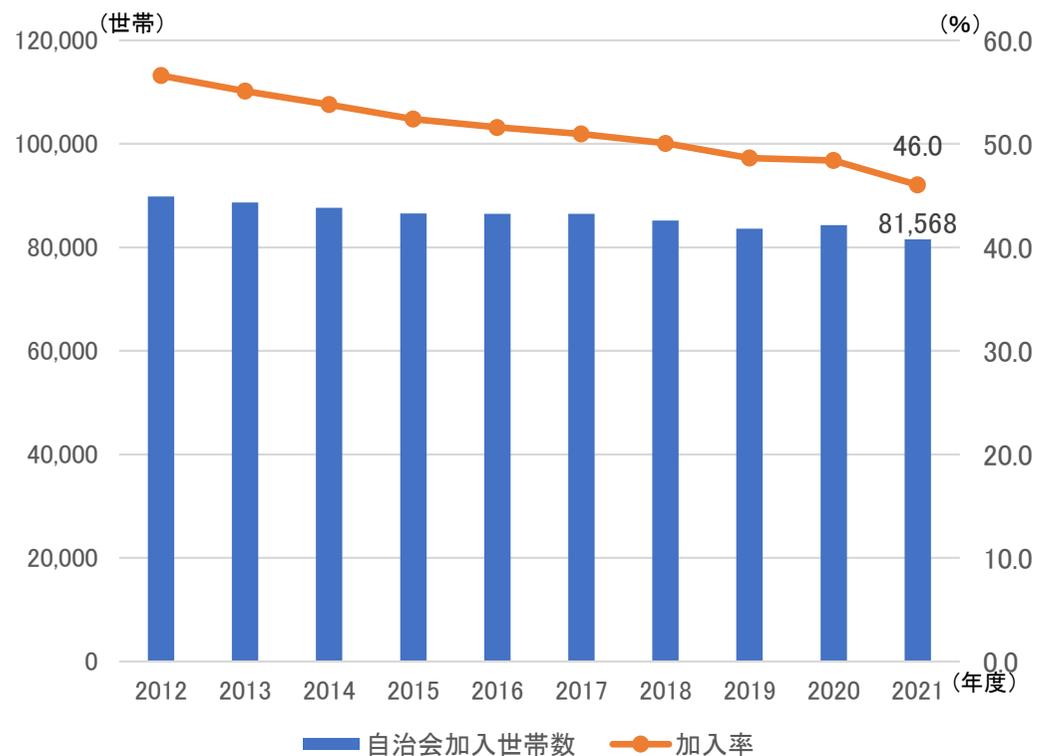
令和4年9月時点		
順位	北摂 中核市・施行時 特例市	団体数
1	東大阪市	154
2	吹田市	126
3	枚方市	115
4	豊中市	106
5	高槻市	105
6	茨木市	82
7	寝屋川市	74
8	岸和田市	71
9	八尾市	65
10	箕面市	61
11	池田市	46
12	摂津市	19

(資料)内閣府NPO法人ポータルサイトより、大阪府、大阪市、堺市が所管するNPO法人を出力し、該当する団体を抽出

5 地域活動の担い手の減少

吹田市の状況

【自治会加入世帯・加入率の推移】



(資料)吹田市

吹田の強み・弱み

- 全国中核市および府内中核市と比較して、自治会加入率が低い。
- 自治会加入率は、減少傾向が続いており、2021年度は46.0%となっている。

他都市との比較

【中核市の自治会加入率】

順位	全国中核市	加入率 (%)
-	(平均)	68.0
1	長野市	95.8
2	高崎市	93.0
3	姫路市	89.6
4	岡崎市	89.0
5	大分市	87.8
6	盛岡市	87.0
7	前橋市	86.7
8	山形市	86.6
9	寝屋川市	85.0
10	富山市	84.0
...
54	八戸市	53.8
55	鹿児島市	52.1
56	宮崎市	52.0
57	函館市	51.0
58	吹田市	46.0
58	尼崎市	46.0
60	豊中市	37.9
61	那覇市	15.5

順位	府内中核市	加入率 (%)
-	(平均)	59.6
1	寝屋川市	85.0
2	枚方市	67.2
3	東大阪市	65.1
4	高槻市	57.4
5	八尾市	58.9
6	吹田市	46.0
7	豊中市	37.9

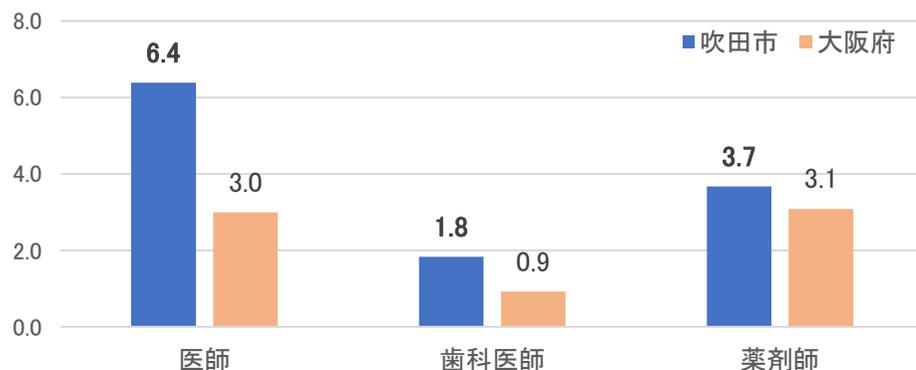
(資料)中核市市長会「都市要覧(令和3年度)」より作成

(注) 全国中核市内の順位には、倉敷市(参照資料にデータ記載なし)を含まない

6 医療サービスの充実

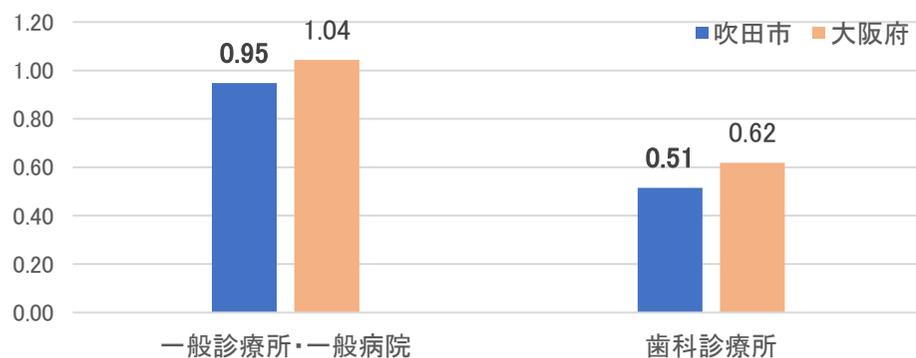
■吹田市の状況

【人口千人あたり医療従事者数(2020年)】



(資料)厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」、大阪府「大阪府統計年鑑」より作成

【人口千人あたり医療施設数(2021年)】



(資料)厚生労働省「医療施設調査」、大阪府「大阪府統計年鑑」より作成

■吹田の強み・弱み

- 人口千人あたりの医療従事者は大阪府平均を上回っており、特に医師数は倍以上の水準となっている。
- 近隣他都市と比較しても、人口千人あたりの医師数・病院数ともに、高い水準にある。

■他都市との比較

【人口千人当たり医師数・病院数(2022年)】

順位	北摂 中核市・施行時 特例市	人口千人 あたり医師数 (2018年)
1	吹田市	6.36
2	高槻市	4.13
3	枚方市	3.05
4	池田市	2.48
5	岸和田市	2.43
6	箕面市	2.32
7	豊中市	2.18
8	八尾市	2.01
9	東大阪市	1.86
10	茨木市	1.67
11	寝屋川市	1.66
12	摂津市	1.07

順位	北摂 中核市・施行時 特例市	人口千人 あたり病院数 (2019年)
1	豊中市	1.07
2	池田市	1.03
3	吹田市	0.91
4	箕面市	0.88
5	高槻市	0.88
6	茨木市	0.86
7	東大阪市	0.86
8	寝屋川市	0.84
9	八尾市	0.84
10	岸和田市	0.81
11	枚方市	0.76
12	摂津市	0.69

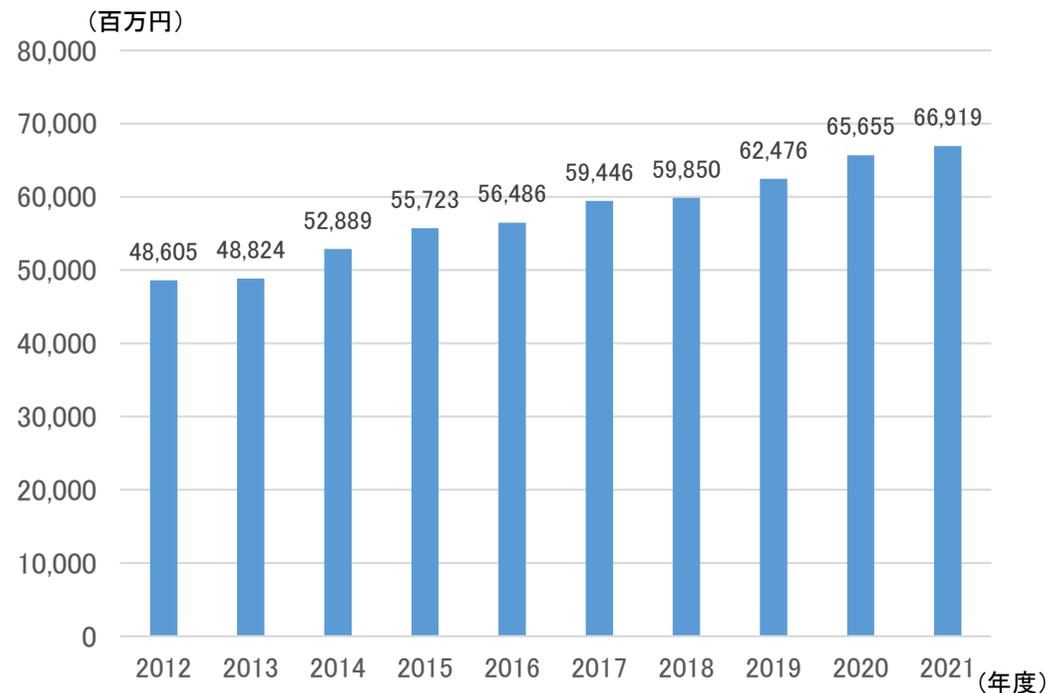
(資料)総務省「統計でみる市区町村のすがた 2022」、大阪府「大阪府統計年鑑」より作成

(注) 病院数は、一般病院数と一般診療所数の合計。

7 社会保障費の増大

■吹田市の状況

【民生費(社会保障関係費)の推移】



(資料)吹田市統計書、決算報告資料(2021年度)

■吹田の強み・弱み

- これまでの10年間で民生費(社会福祉費、生活保護費等)は一貫して増加しており、今後も同様の傾向で推移することが見込まれる。
- 近隣他都市と比較して高齢人口割合が小さく、人口あたり民生費の水準は中位にある。

■他都市との比較

【人口あたり民生費、高齢人口割合】

順位	北摂 中核市・施行時 特例市	人口あたり 民生費 (円/人)	順位	北摂 中核市・施行時 特例市	高齢人口 割合 (%)
1	東大阪市	217,291	1	寝屋川市	30.5
2	八尾市	211,066	2	枚方市	30.5
3	岸和田市	199,987	3	高槻市	29.6
4	豊中市	199,513	4	八尾市	29.0
5	寝屋川市	198,737	5	東大阪市	28.9
6	摂津市	184,357	6	岸和田市	28.8
7	枚方市	176,558	7	池田市	27.2
8	吹田市	169,428	8	豊中市	26.3
9	箕面市	166,744	9	箕面市	26.0
10	高槻市	164,925	10	摂津市	26.0
11	茨木市	163,591	11	茨木市	24.8
12	池田市	157,045	12	吹田市	23.8

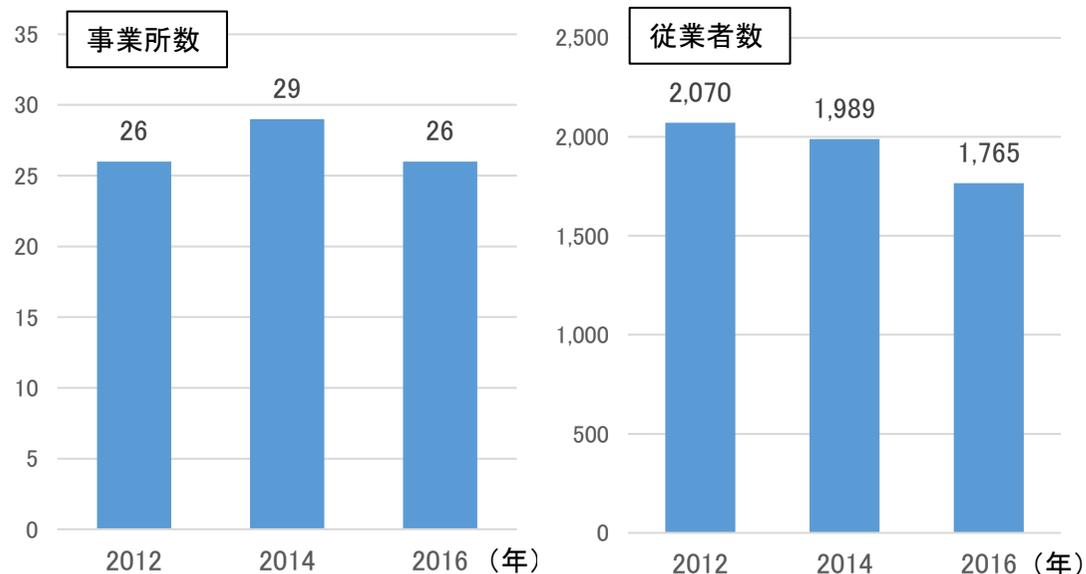
(資料)大阪府「令和3年度大阪府統計年鑑」

(注1)人口あたり民生費は、令和3年度民生費および令和3年1月時点住民基本台帳人口より算出

8 学術・研究機関の立地

■吹田市の状況

【学術・開発研究機関 事業所数・従業者数の推移】



(資料)平成 24・平成 28 年経済センサス活動調査、平成 26 年経済センサス基礎調査

(注)各調査時点の産業分類における中分類「71 学術・開発研究機関」に該当する事業所および従業者数。

■吹田の強み・弱み

- 近隣他都市と比較して、学術・研究機関の事業所数・従業者数は多くなっている。
- 一方で、2012 年から 2016 年にかけて、従業者数が減少傾向にある。

■他都市との比較

【学術・開発研究機関 事業所数・従業者数(2016 年)】

順位	北摂 中核市・施行時 特例市	事業所数	順位	北摂 中核市・施行時 特例市	従業者数
1	茨木市	34	1	吹田市	1,765
2	吹田市	26	2	茨木市	1,290
3	東大阪市	21	3	豊中市	1,174
4	豊中市	18	4	摂津市	723
5	高槻市	9	5	高槻市	694
6	寝屋川市	8	6	寝屋川市	667
7	枚方市	7	7	池田市	343
7	摂津市	7	7	豊中市	343
9	池田市	5	9	箕面市	218
10	八尾市	3	10	枚方市	109
10	箕面市	3	11	八尾市	71
12	岸和田市	1	12	岸和田市	2

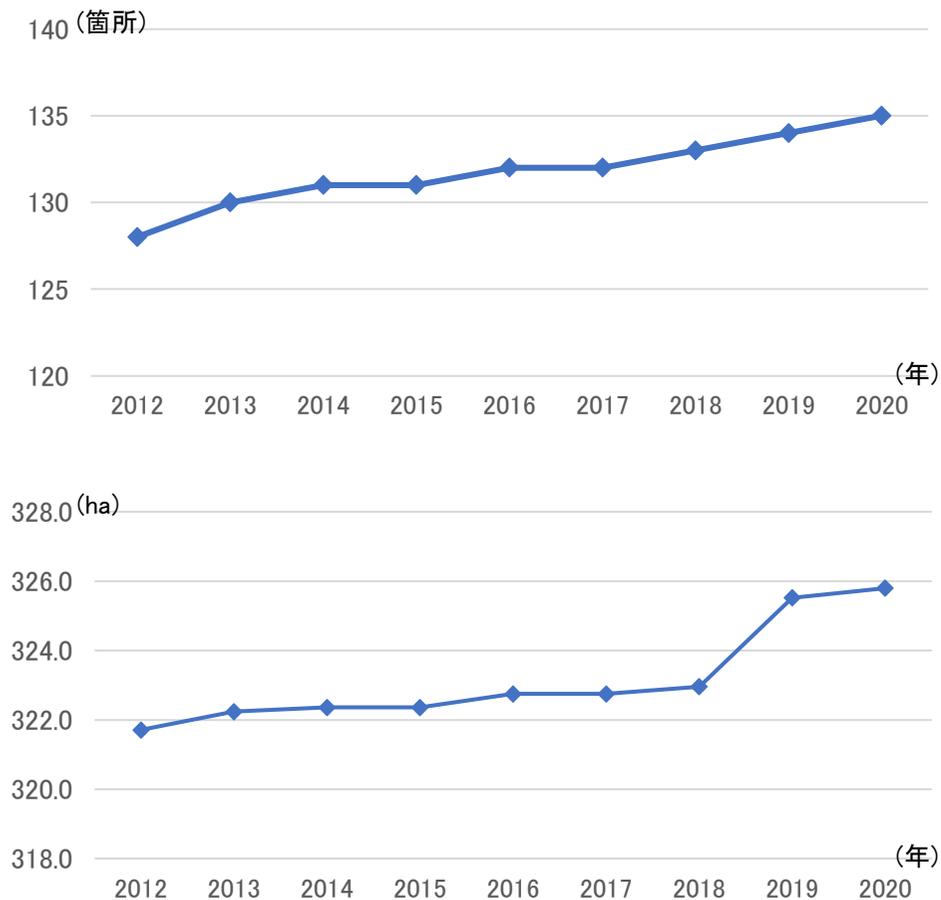
(資料)平成 28 年経済センサス活動調査

(注)各調査時点の産業分類における中分類「71 学術・開発研究機関」に該当する事業所および従業者数。

9 住みよい生活環境

吹田市の状況

【都市公園数・都市公園面積】



(資料)大阪府統計年鑑

吹田の強み・弱み

- 北摂地域の他市および府内中核市・施行時特例市と比較して、人口あたりの都市公園面積は大きくなっている。
- 都市公園数、都市公園面積は、いずれも増加している。

他都市との比較

【人口当たり都市公園面積】

令和2年		
順位	北摂 中核市・施行時 特例市	1人当たり公園 面積(m ² /人)
1	箕面市	17.20
2	池田市	12.58
3	岸和田市	8.77
4	吹田市	8.49
5	豊中市	6.86
6	摂津市	5.67
7	寝屋川市	5.61
8	枚方市	5.58
9	高槻市	5.38
10	茨木市	3.78
11	八尾市	2.85
12	東大阪市	2.84

(資料)大阪府統計年鑑

10 住宅地の集積

■吹田市の状況

【着工住宅数の推移】



(注) 着工建築物における、居住専用住宅と居住専用準住宅の合計
 (資料) 建築着工統計調査

■吹田の強み・弱み

- 他の中核市と比較して、特に着工住宅数自体は多いとは言えない。

■他都市との比較

【2019年度の着工住宅数(中核市)】

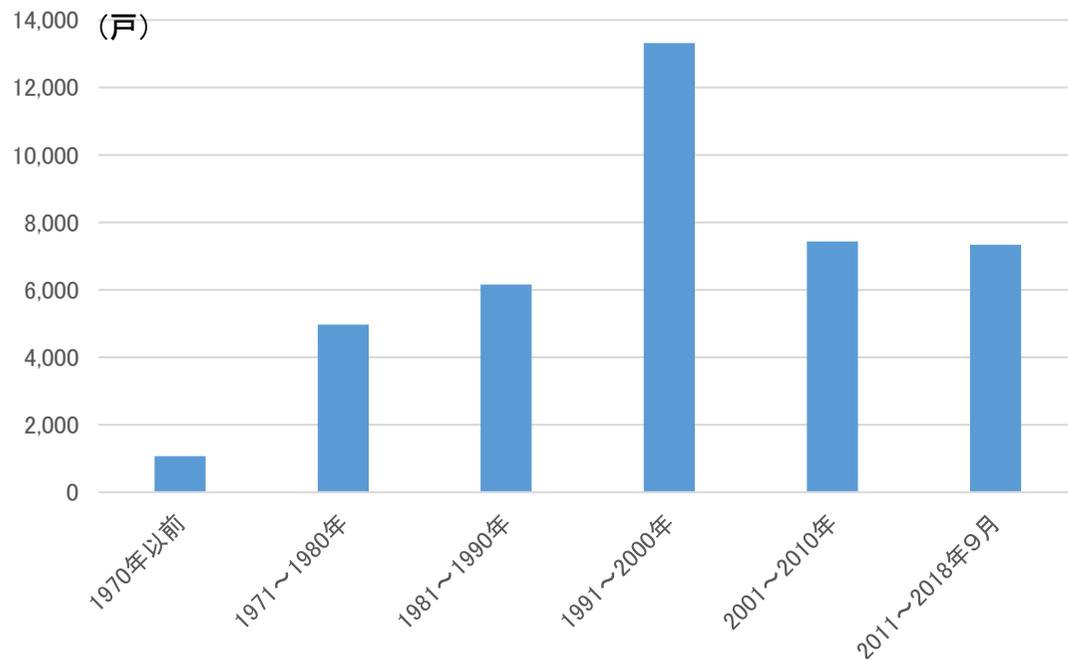
順位	中核市	住宅数
1	倉敷市	3129
2	富山市	2959
3	宇都宮市	2630
4	鹿児島市	2626
5	船橋市	2580
6	姫路市	2540
7	川口市	2504
8	金沢市	2369
9	柏市	2331
10	福山市	2170
11	岐阜市	2152
12	岡崎市	2100
13	松山市	2097
~~~~~		
43	福井市	1292
44	尼崎市	1292
45	久留米市	1267
46	豊中市	1232
47	西宮市	1215
48	旭川市	1149
49	吹田市	1125
50	八戸市	1056
51	高知市	1039
52	八尾市	1008
53	函館市	983
54	長崎市	851
55	甲府市	819
56	下関市	791
57	鳥取市	776
58	松江市	749
59	寝屋川市	703
60	佐世保市	688
61	呉市	486
62	那覇市	422

(資料) 2019 建築着工統計調査

## 11 民間住宅の老朽化

### ■吹田市の状況

【建築時期別 民営借家(非木造)建築数】



(資料)平成 30 年住宅・土地統計調査

### ■吹田の強み・弱み

- 近隣他都市と比較して、老朽化したマンション(非木造民間借家)の戸数が多く、老朽化への対策を促すことが求められる。

### ■他都市との比較

【1990年以前に建築されたマンション(非木造民間借家)の戸数】

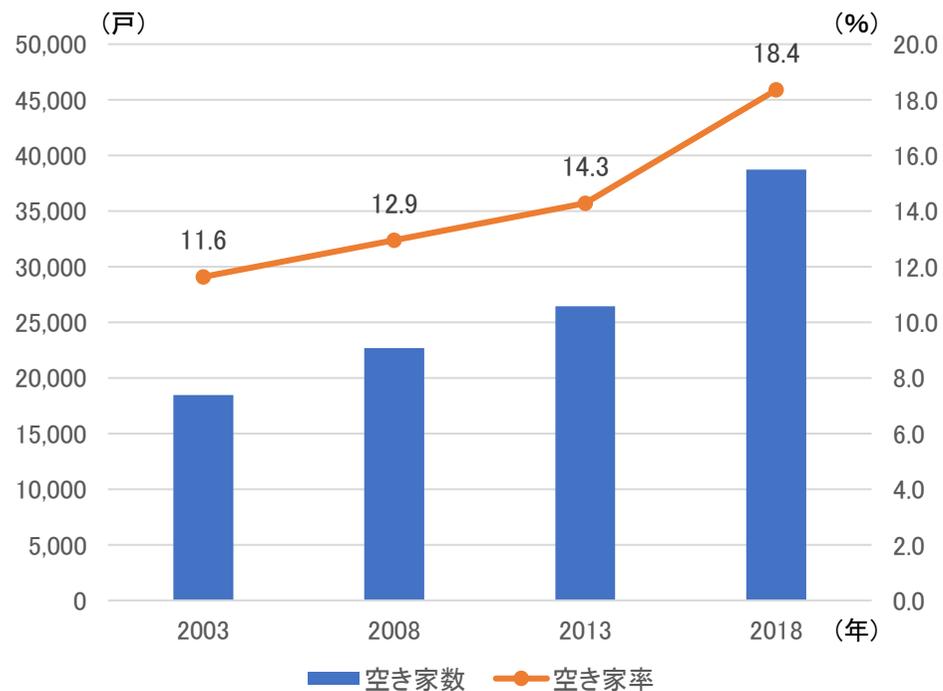
1990年以前に建築された 民営借家数(非木造)		
順位	北摂 中核市・施行時 特例市	戸数
1	豊中市	18,300
2	東大阪市	14,210
3	茨木市	12,490
4	吹田市	12,200
5	高槻市	7,840
6	枚方市	7,790
7	寝屋川市	5,850
8	八尾市	5,470
9	箕面市	4,930
10	岸和田市	4,010
11	池田市	3,710
12	摂津市	3,200

(資料)平成 30 年住宅・土地統計調査

## 12 空き家の増加

### ■吹田市の状況

【空き家数・空き家率の推移】



(資料)国土交通省「住宅・土地統計調査」

### ■吹田の強み・弱み

- 空き家数・空き家率ともに増加しており、特に近年はその傾向が拡大している。
- 近隣他都市と比較しても空き家数・空き家率は高い水準にある。

### ■他都市との比較

【空き家数・空き家率(2018年)】

順位	北摂 中核市・施行時 特例市	空き家数 (戸)	順位	北摂 中核市・施行時 特例市	空き家率 (%)
1	東大阪市	44,390	1	吹田市	18.4
2	吹田市	38,710	2	東大阪市	16.3
3	豊中市	30,830	3	豊中市	15.3
4	枚方市	23,560	4	寝屋川市	14.7
5	八尾市	18,830	5	八尾市	14.3
6	寝屋川市	17,200	6	岸和田市	13.9
7	高槻市	17,020	7	摂津市	13.8
8	茨木市	14,690	8	箕面市	13.2
9	岸和田市	11,810	9	池田市	12.5
10	箕面市	9,060	10	枚方市	12.4
11	池田市	6,660	11	茨木市	10.9
12	摂津市	5,940	12	高槻市	10.3

(資料)国土交通省「住宅・土地統計調査」